

平成24年1月23日

第108号  
ボランティア情報

プラム

ふじいでら

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会

藤井寺市ボランティアセンター

藤井寺市ボランティア連絡会

〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8

TEL 072-938-8220

FAX 072-938-8221

E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp

URL <http://www.fujidera-shakyo.net>

硝子のなか（金子みすゞ作）



おもての雪が見えるので ひらひらお花のやうなので、  
明(アカ)り障子の繪硝子を、お炬燵(コタ)にあたつて見てみたら、  
うらの木小屋へ木をとり、雪ふるなかを歩いてく、  
お祖母さまのうしろかげ、ちらちら映つて、消えました

【金子みすゞ・大正時代末期から、昭和初期の童謡詩人】

平成23年度 ボランティア連絡会

茶話会 参加者募集！！

毎年2月に、市内のボランティア団体や個人の方が集まって、交流する場となっているボランティア連絡会の「茶話会」。今年の開催日時が決まりましたので、お知らせします。

日時：平成24年2月16日（木）13:30～15:30

場所：市立福社会館2階 講座室

参加費：100円（当日、徴収します。）

対象：市内のボランティア団体・個人ボランティアの方

当日は、お菓子・お茶をいただきながら、ボランティアさんの出し物や発表を見て楽しく過ごしたいと思います。

ふるってご参加下さい♪



# 公開研修会・報告

昨年、年の瀬の 12 月 22 日（木）、福社会館にて、ボランティア連絡会公開研修会が行われました。今回のメインテーマは、『防災』。東日本大震災から約 9 ヶ月が経過しますが、防災への関心の高まりを示すように、当日は 47 人の方が研修会に参加しました。

司会は、朗読の会ひびきの藤井さん。ボランティア連絡会松田会長（健康体力教室）のあいさつで始まった公開研修会は、約 2 時間実施しました。2 時間という時間の長さを忘れるほど充実した内容でした。

前半は、藤井寺市危機管理課の米倉氏から、「防災学習会～日頃の備えで命を守る～」という題で話していただきました。その中で、普段の地震対策や防災カード、災害用伝言ダイヤル「171」の話題があり、これまでもどこかで見聞きした方も多かったようですが、改めて市の担当者からの丁寧な説明で、みなさん認識を新たにされたようです。



松田会長のあいさつ

後半は、富田林土木事務所の萩田氏から、今後近い将来起こるとされている東南海沖地震や阪神大震災から学んだ教訓について話していただきました。また、参加者の方々にいくつかのグループに分かれてもらい、水害想定クロスロードゲームを行いました。



研修会の様子 その①

ゲームでは、水害の際の究極の選択に自分ならどのように行動するか、同じグループの人はなぜそのような選択肢を選択するか、などの意見交換が活発に行われ、大いに盛り上がりました。

研修会の終わりには、参加者の方全員に、アルファ米と非常用の飲料水が配られました。

参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。



研修会の様子 その②



研修会の様子 その③

ボランティア厚生労働大臣表彰・  
大阪府社会福祉ボランティア表彰（大阪府知事表彰） 受賞報告

平成 23 年 11 月 25 日（金）、大阪市天王寺区にある大阪国際交流センターで、平成 23 年度大阪府社会福祉大会が行われました。

そこで、ボランティア厚生労働大臣表彰と、大阪府社会福祉ボランティア表彰（大阪府知事表彰）の授賞式が行われました。



ボランティア部門では、長年の功績が認められ、藤井寺市から 2 団体が受賞。

『いきいき歌体操藤井寺グループ』が厚生労働大臣表彰を、  
『シルバーアドバイザー藤井寺』が大阪知事表彰を受賞されました。

本当に、おめでとうございます！

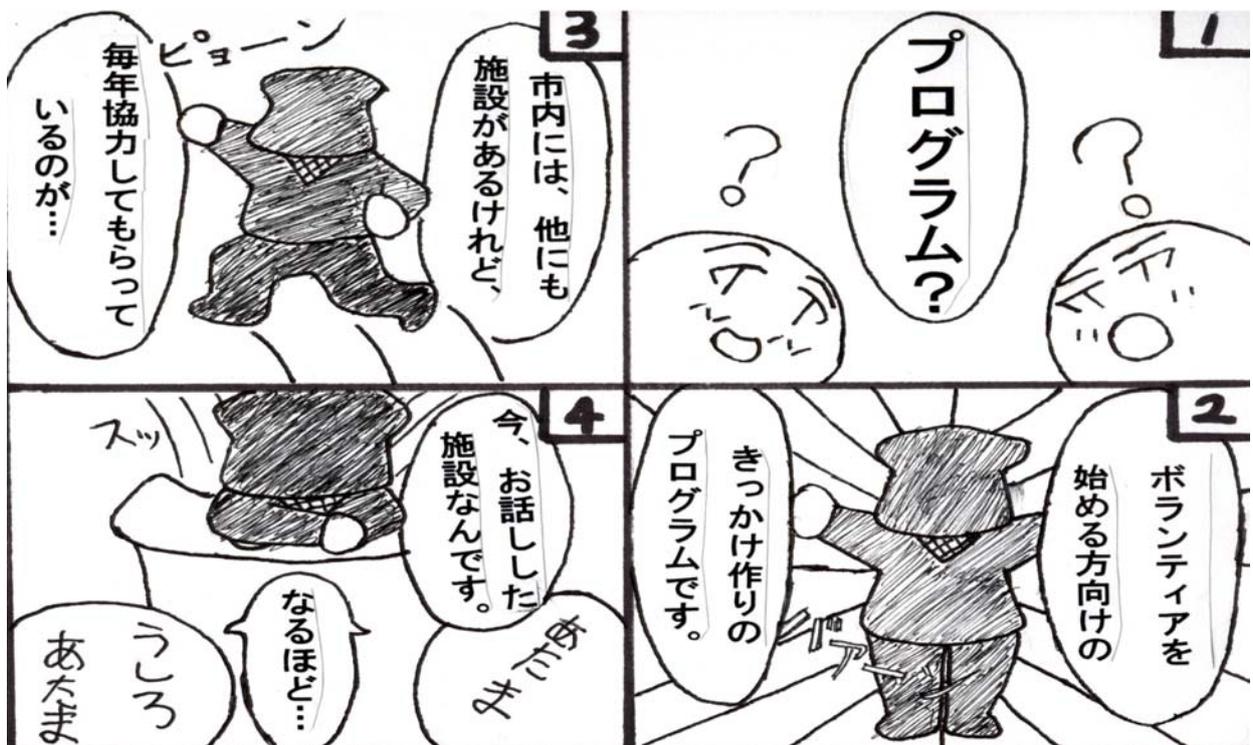
♪ プラムな関係 ♪

第 10 回『ボランティアセンターにて その 5』

（四天王寺大学マンガ研究部 橋出 和樹）

【前回までのあらすじ】

ボランティア体験プログラムは、初めてボランティア活動される方にも取組みやすい内容で、さまざまな施設と協力して社協が提供しています。（毎年 7～8 月頃実施）



(つづく)

# 求む！ボランティア

(連絡先)

TEL：072-938-8220

MAIL：fureai@silver.ocn.ne.jp

募集NO.30

一般、中高生や大学生のボランティア募集です。

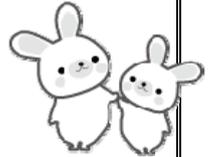
活動内容：親・子（0歳～就園前）の集まりの見守り お母さんのためのマッサージ

日時：2月24日（金）正午～午後3時

実施場所：つどいの広場 ふじいでら（住所：藤井寺市小山9-1-16）

お問い合わせ・お申込みは直接発信者へ TEL：072-936-0011

【つどいの広場スタッフ】



歴史上の人物②（社会福祉分野）

## 松平 定信（1759年～1829年）

江戸時代の老中。寛政の改革を行い幕政再建を目指した。その政策の中に、七分積金の制度がある。この制度は、江戸の地主が負担する町入用（まちにゅうよう）（町費）を節約し、その節約分の七割を町会所に積み立て、救貧基金として利殖運用したものである。明治維新後、新政府の東京市運営の財源として利用された。

## ボランティア用語集 NO. 4

### ⑩国連教育科学文化機関

（ユネスコ・UNESCO=United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization）

国連の専門機関（specialized agencies）で、188の国が加盟し、本部はパリに置かれている。1946年に設立された。教育、科学、文化、情報流通などを通して世界の平和に寄与することを目的にしている。識字教育、自然・文化遺産の保護、人権教育、平和教育などの活動を推進している。

### ⑪国連児童基金（ユニセフ・UNICEF=United Nations Children's Fund）

第二次世界大戦後、荒廃した地域の子供たちの緊急援助のために、国連総会で1946年に「国連国際児童緊急基金」として設置され、1953年に常設の機関となる。本部はニューヨーク。児童の権利保護、基本的ニーズの充足、機会の拡大のため主に発展途上国の児童の医療や栄養教育の支援をしている。幼児下痢性疾患治療のための経口補水療法は有名である。

### ⑫ジェンダー（gender）

女性と男性という生物学的・解剖学的性差をセックスと呼ぶのに対して、文化的・社会的に複雑に作り上げられた性差をジェンダーという。性差は一般に、自然で先天的なものと考えられ、男らしさ・女らしさは自明なものとしてきた。しかし、実際には、言語・服装・労働・経済・政治などの社会生活全般により、つまり社会的・文化的・心理的などの過程の中で日々つくられていくものといわれている。

【開所時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分